

院内感染対策の数値化と ネットワークの効果

中野・杉並感染管理ネットワーク代表幹事
荻窪病院 心臓血管外科 ICD 藤井 奨



施設紹介

- 所在地：東京都 杉並区
- 開設：1946(昭和21)年1月
- 医療法人設立：1950(昭和25)年12月
- 診療科目：16科目
- 病床数：許可病床 一般252床
- 平均患者数：外来482名/日 入院192名/日(平成26年度)
- 職員数：計665名(平成27年4月)
- 中野・杉並感染管理ネットワークの事務局がある



本日の内容

- 2009年の荻窪病院の状態
 - － 数値化とPDCAサイクル
- 中野・杉並感染管理ネットワーク立ち上げの経緯
- 中野・杉並感染管理ネットワーク
 - － 参加病院のメリット
 - － 実際の活動

「ふつう」って

2009年病院幹部の発言
「これくらいMRSA検出症例
がいるのは普通」



2009年のデータを数値化

MRSA病院内新規検出率

(入院患者100名から院内で新たにMRSAが検出される率)

1.24%

(2009年1～3月)

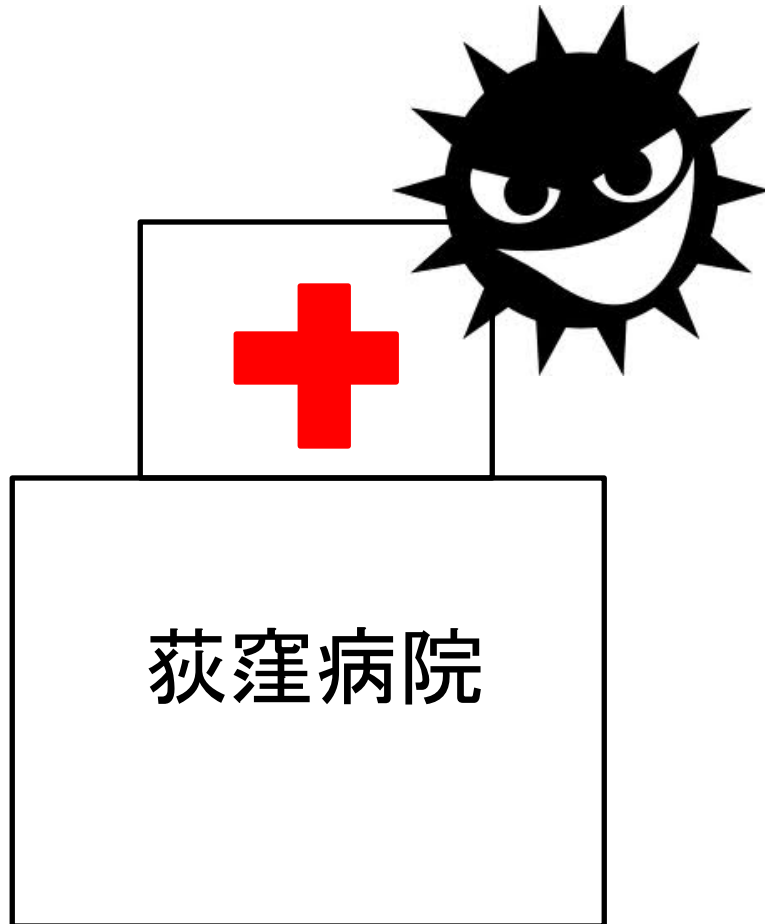
日本環境感染学会の報告

0.55%

(2007年)

環境感染誌 Vol24 No2 p134-136 2009年より引用

MRSAアウトブレイク



2009年9月 MRSA 4例
アウトブレイク



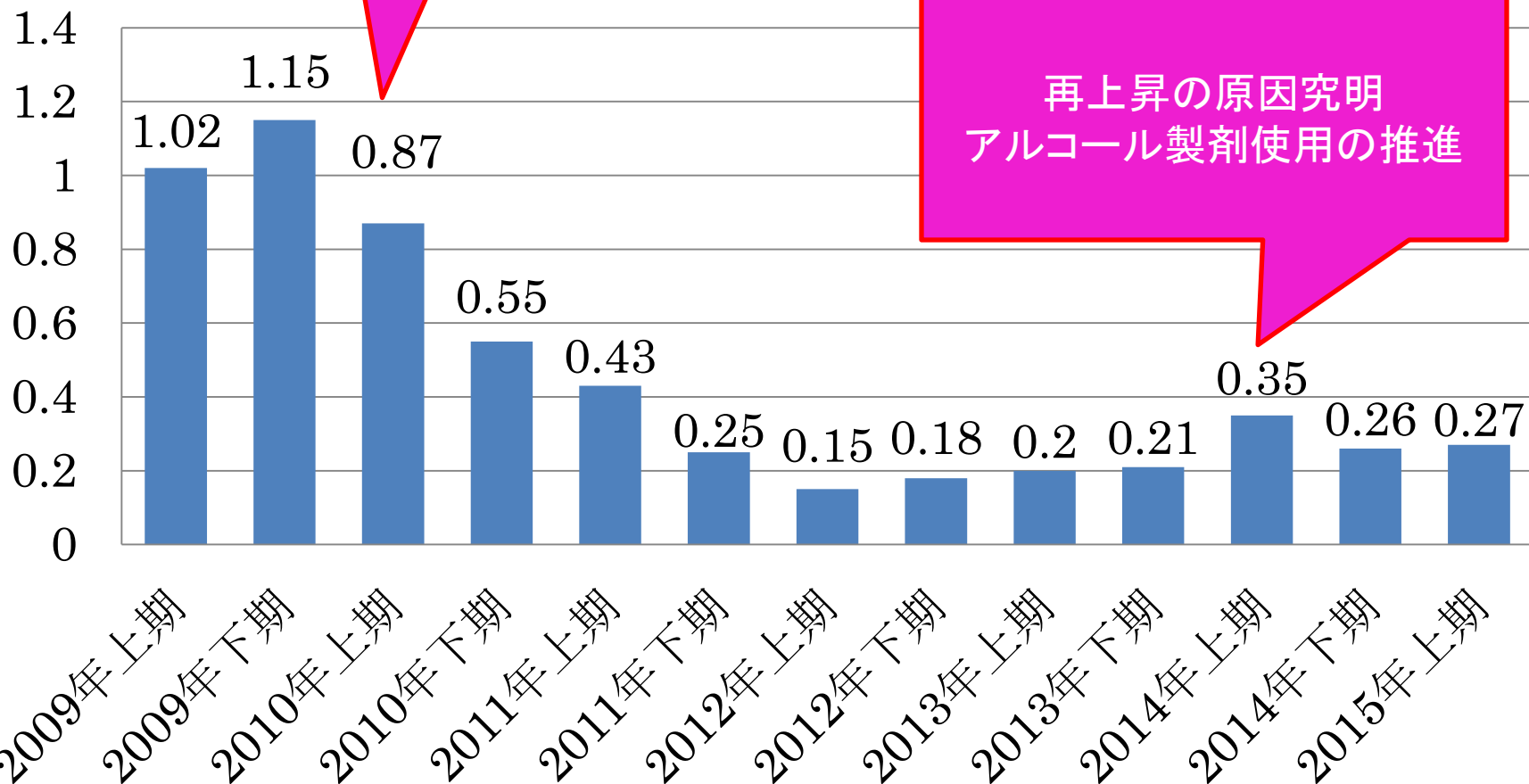
国立感染症研究所のHPより

にPDCAサイクルを

入院時鼻腔培養
MRSA検出者の個室隔離

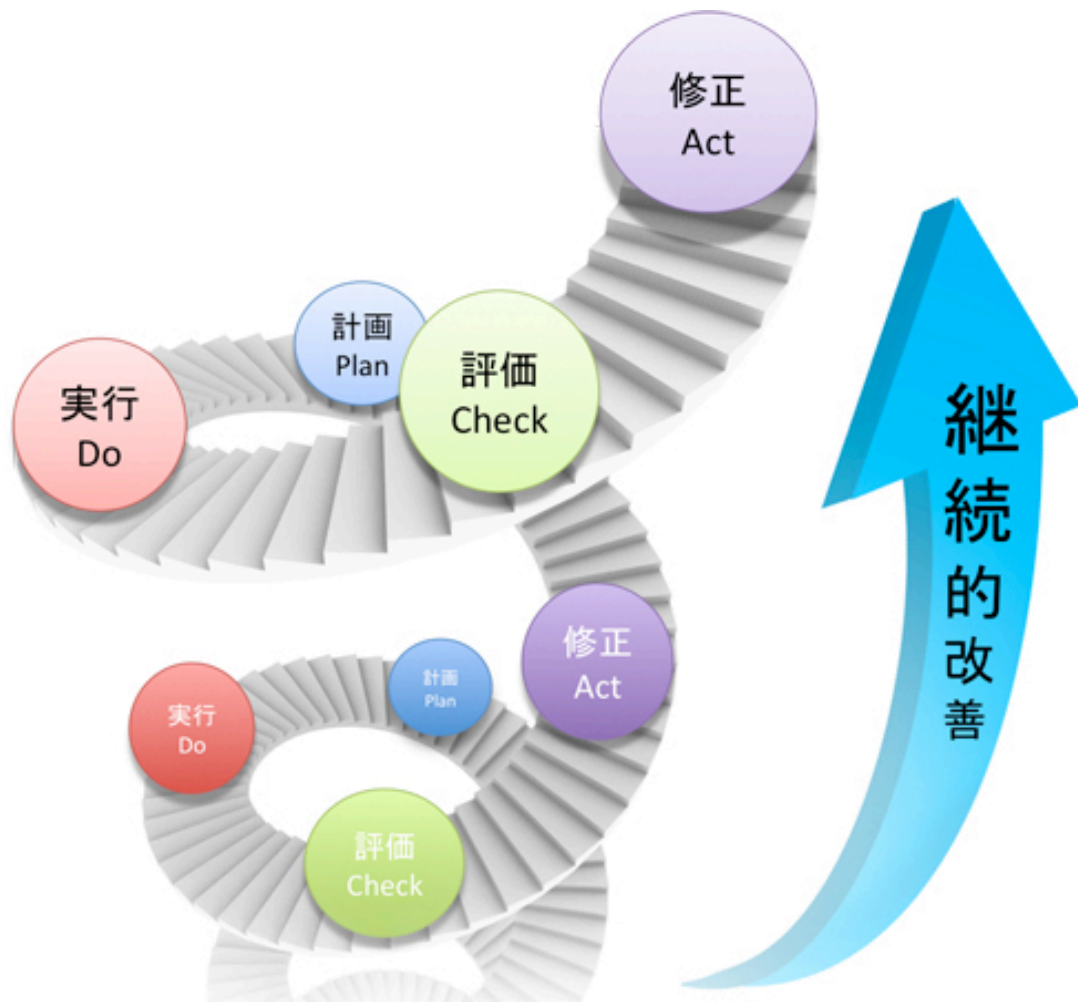
MRSA病院内新規検出率

(入院患者100名から院内で新たにMRSAが検出される率)



再上昇の原因究明
アルコール製剤使用の推進

数値化は



数値化は、計画と評価を明確にするツールです。

2010年10月ICD緊急セミナー

2010年9月

大学病院アシネトバクターバウマウニの
アウトブレイク



2010年10月 ICD協議会の緊急提言
「アウトブレイクは、警察や行政の介入の前に、
病院連携による対応をすべき」

病院間連携からネットワーク構築へ

杉並区に大学病院や公立病院はない



2011年、東京警察病院(中野区)、河北総合病院(杉並区)、東京衛生病院(杉並区)と院内感染対策で病院連携を確約



2012年4月1日 中野・杉並感染対策ネットワーク
中野区8施設、杉並区10施設が参加

中野・杉並感染管理ネットワーク

目的

- ① 東京都西部地区、特に中野区・杉並区における病院感染対策の向上
- ② 参加病院が病院感染対策に関して広く意見を交換し、医療関連感染症やアウトブレイクに対してネットワークで対応する



参加病院のメリット

①増収になる

加算2を算定するための人員配置(看護師・医師・検査技師・薬剤師)がある病院には、加算が取れるように協力する

㊦院内感染対策マニュアルの見直し

㊧細菌レポート

当院の週間レポート・月間レポートを例示

㊨ラウンド

当院の環境ラウンドのチェックリストを例示

㊩抗菌薬使用届とその使用状況

当院の抗菌薬使用届を例示

抗菌薬使用密度(AUD)の算出方法(数値化)

㊪アルコール製剤の払い出し

アルコール製剤の払い出し量の算出方法(数値化)

感染対策

②さまざまな感染対策を知ることができる

第1回勉強会(2012年6月15日開催)

「手指衛生について」

方法1)ポスターの作成

方法2)標語募集

方法3)朝礼時の呼称確認

方法4)患者さんへの宣言

方法5)パームスタンプの実施

方法6)ブラックライトを用いた手洗いの実施

方法7)アルコール製剤の設置場所

方法8)アルコール製剤の使用量調査(病棟別)

方法9)アルコール使用のタイミング調査

方法10)アルコール製剤の個別化

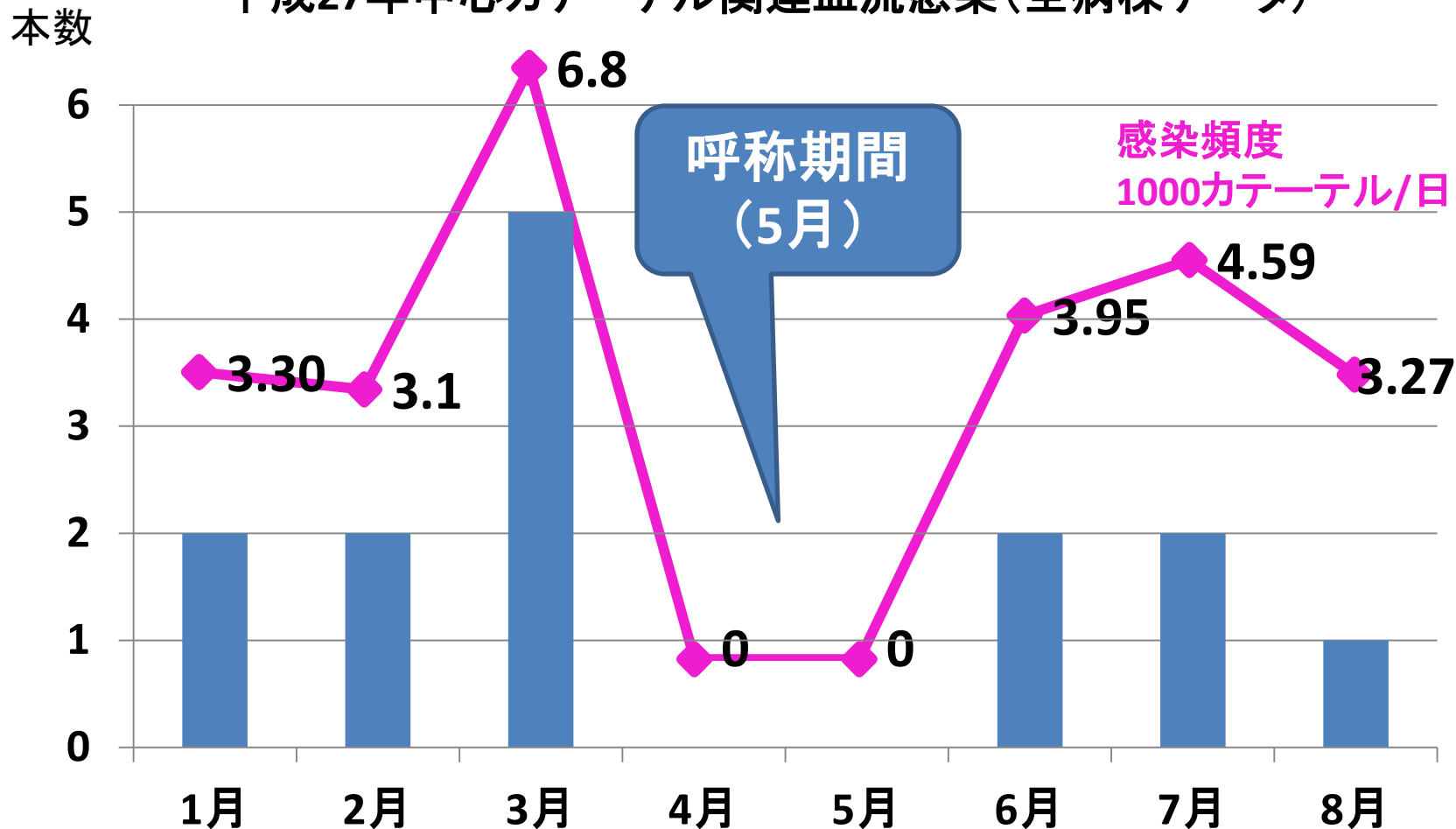
呼称確認の例



呼称確認の効果

「接続部、最低3回、ゴシゴシゴシ」

平成27年中心カテーテル関連血流感染(全病棟データ)



知識

③専門家によるホットな話題を提供

第11回勉強会(2014年11月14日開催)

「薬剤耐性菌のアウトブレイクとその感染対策」

埼玉医科大学 感染症科・感染制御科 教授 前崎 繁文 先生

デング熱やエボラ出血熱の話題にも触れられ、渡航歴聴取の重要性



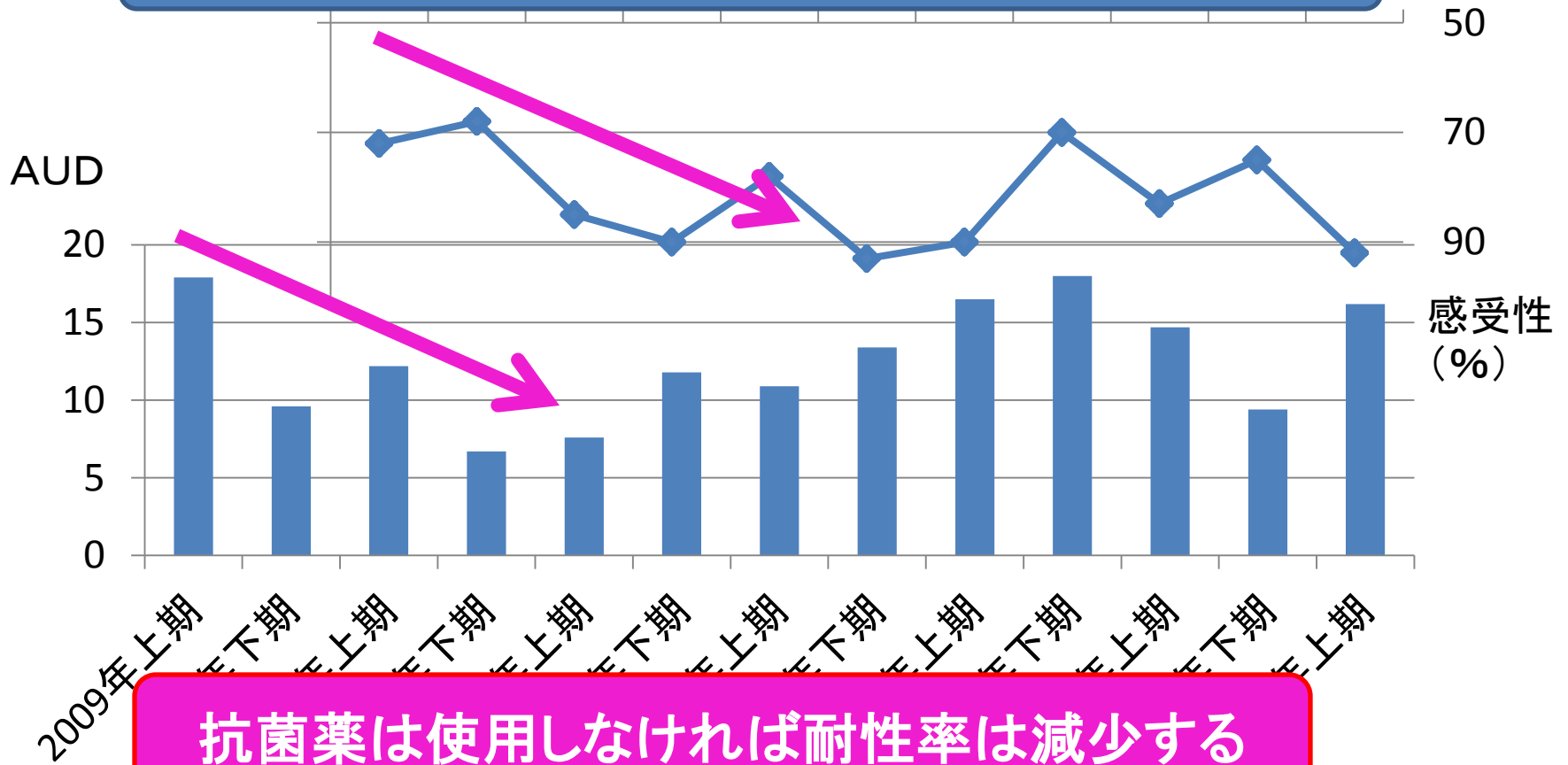
「3週間以内に海外渡航歴のある方は、職員にお声をかけてください」と案内を掲げることになった。

また、職員の海外渡航届出書と帰国後調査票の提出。

抗菌薬と耐性化

④ICN在籍病院のデータを知ることができる

カルバペネムAUDと緑膿菌のMEPM感受性

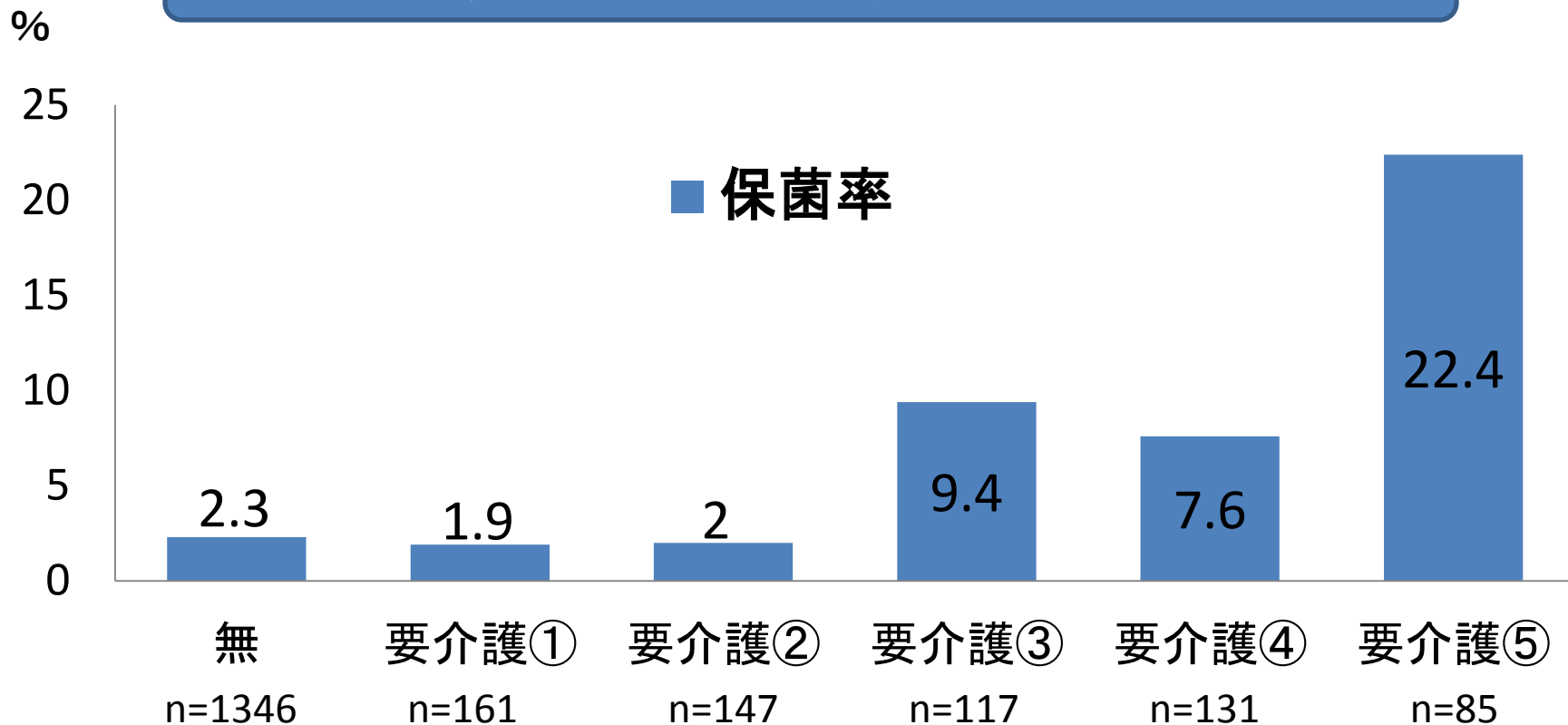


抗菌薬は使用しなければ耐性率は減少する

MRSA鼻腔保菌

④ICN在籍病院のデータを知ることができる

MRSA鼻腔保菌と介護区分の関係性



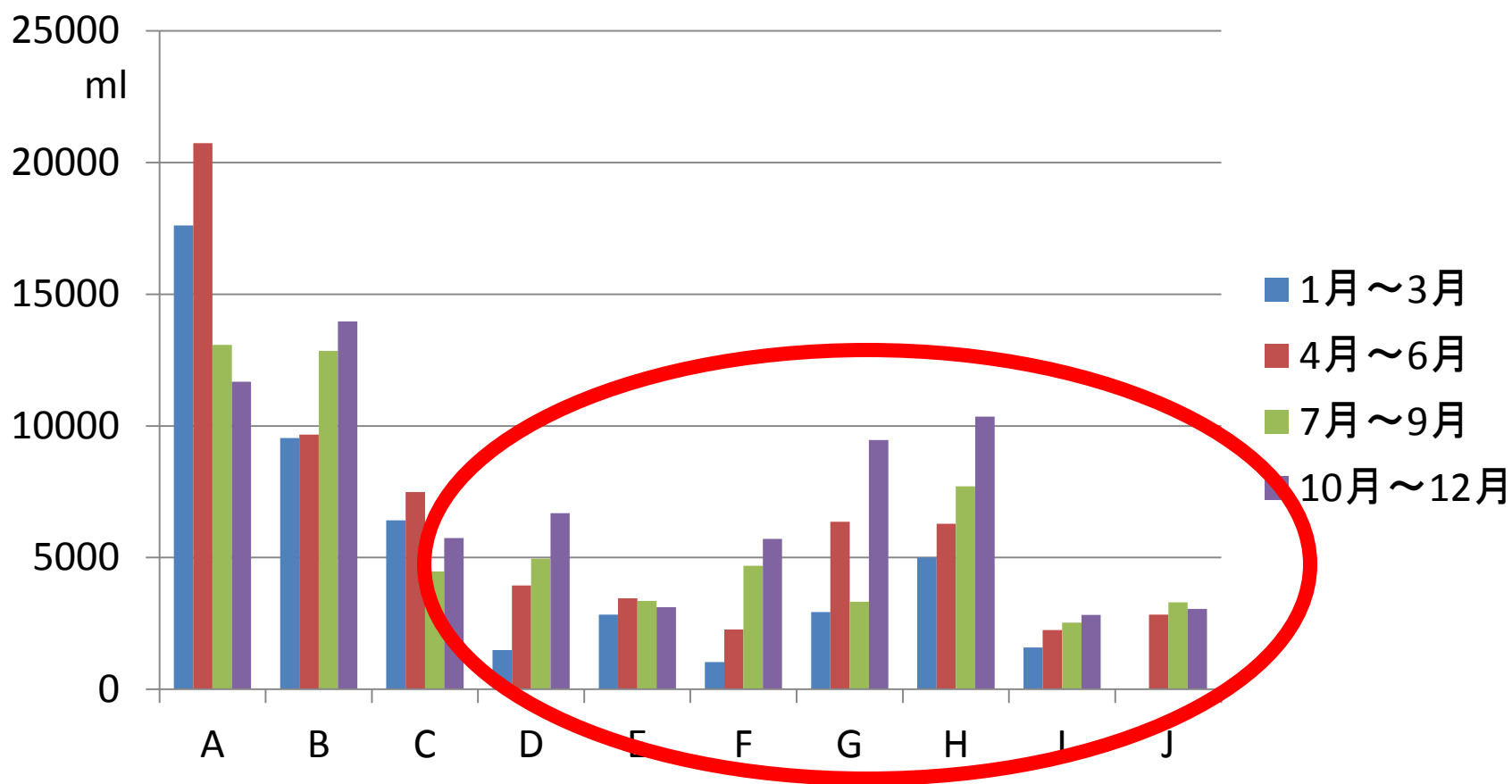
荻窪病院 2014年入院時鼻腔培養報告より

アルコール製剤の使用量

(中野・杉並感染管理ネットワークデータより、平成26年)

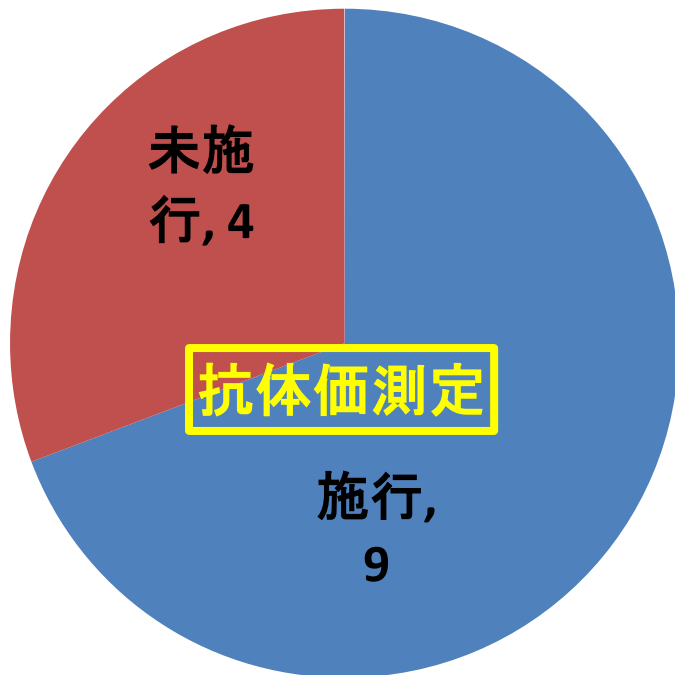
⑤近隣の病院の現状を知ることができる

1000患者あたりの1日使用量 = 使用量 / 合計延入院人数 × 1000

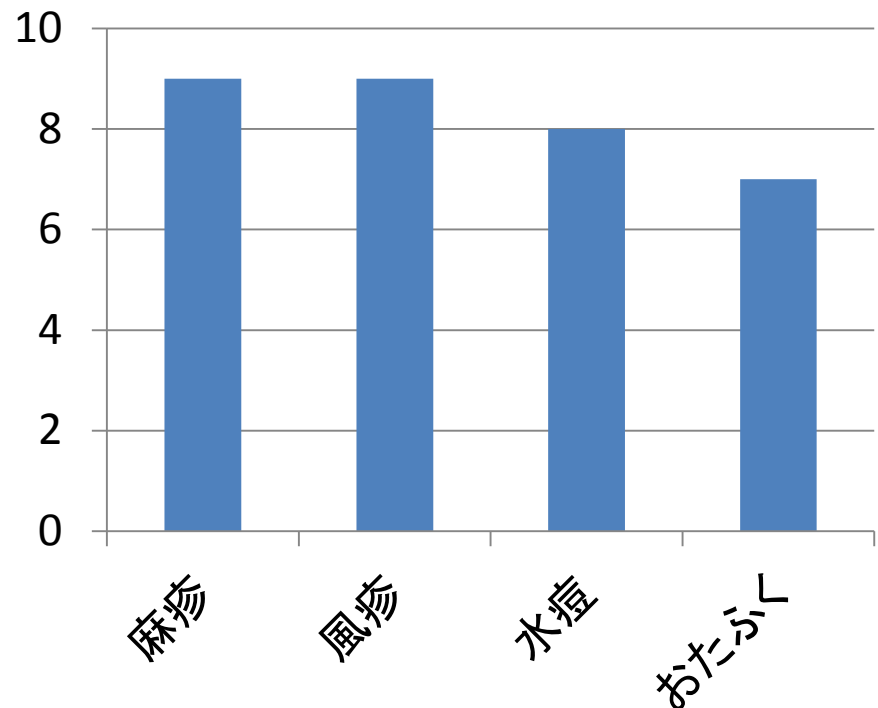


⑤近隣の病院の現状を知ることができる

4種（麻疹・風疹・水痘・おたふく）ウイルス抗体価測定



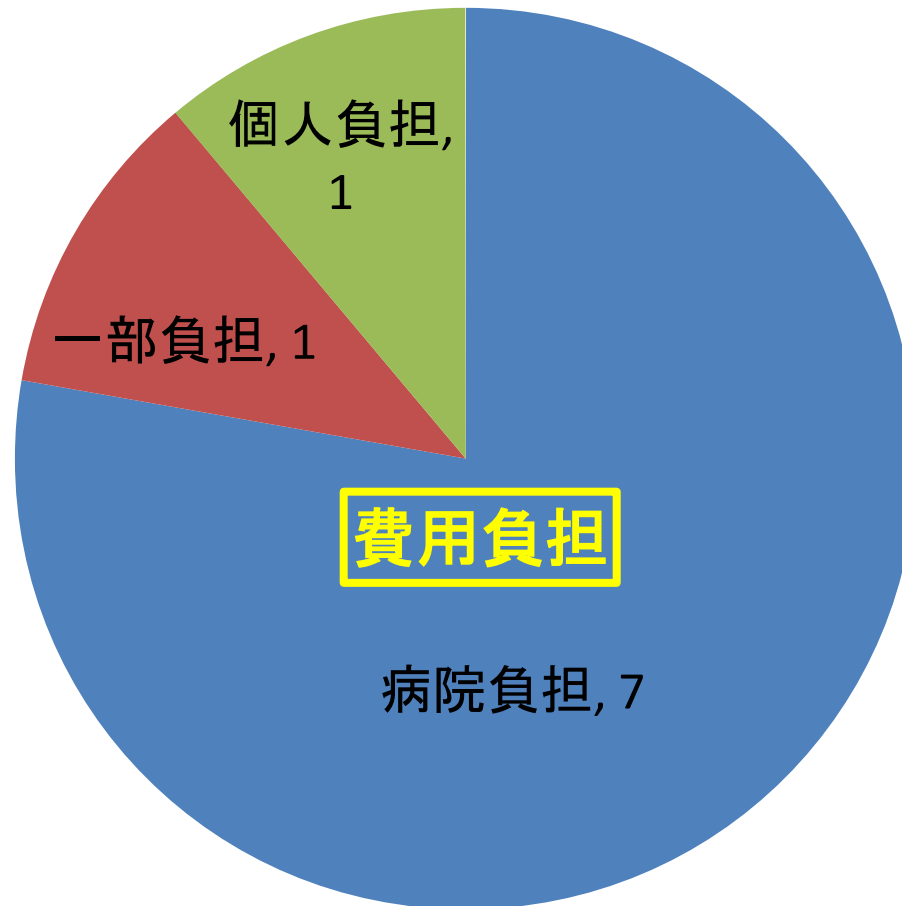
施行検査



約70%の施設で抗体価測定施行

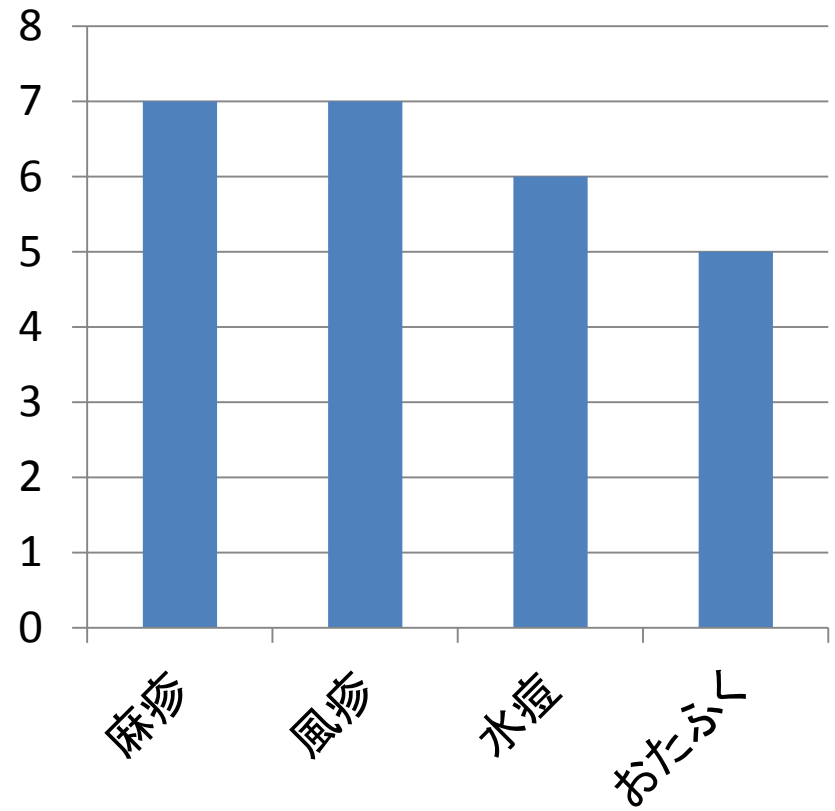
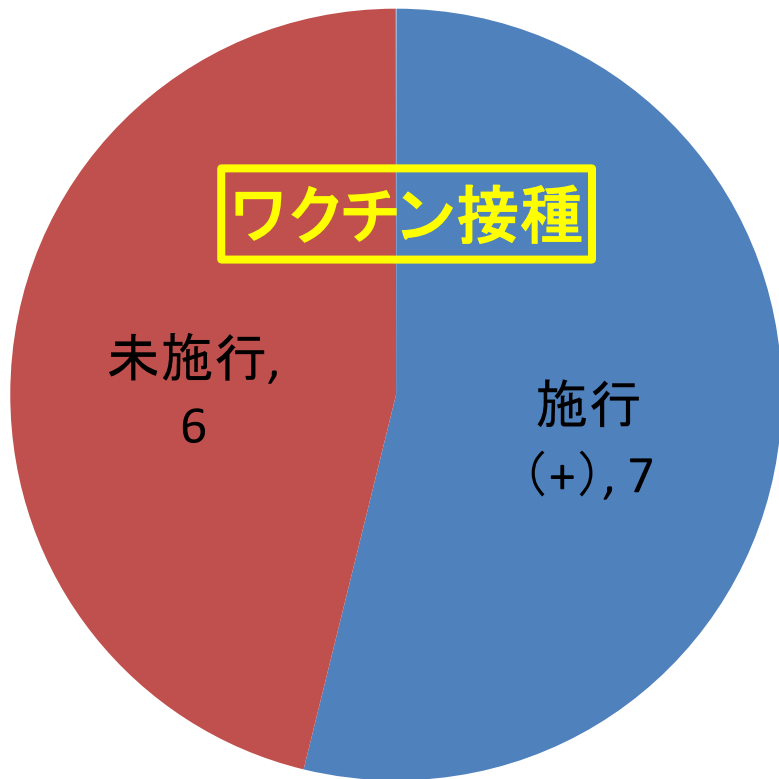
⑤近隣の病院の現状を知ることができる

4種ウイルス抗体価測定のコスト負担



⑤近隣の病院の現状を知ることができる

4種（麻疹・風疹・水痘・おたふく）ウイルスワクチン接種



抗体価測定施設9施設中、7施設で実施

出張ラウンド

- ⑥感染管理認定看護師による院内ラウンドを受けることができる



わかりやすい予防策表示

物品の整理整頓

ラウンド後



物品の整理整頓、清掃しやすい環境づくりを促す



働きやすい、きれいな病院に変わる

汚物室の管理

ラウンド後

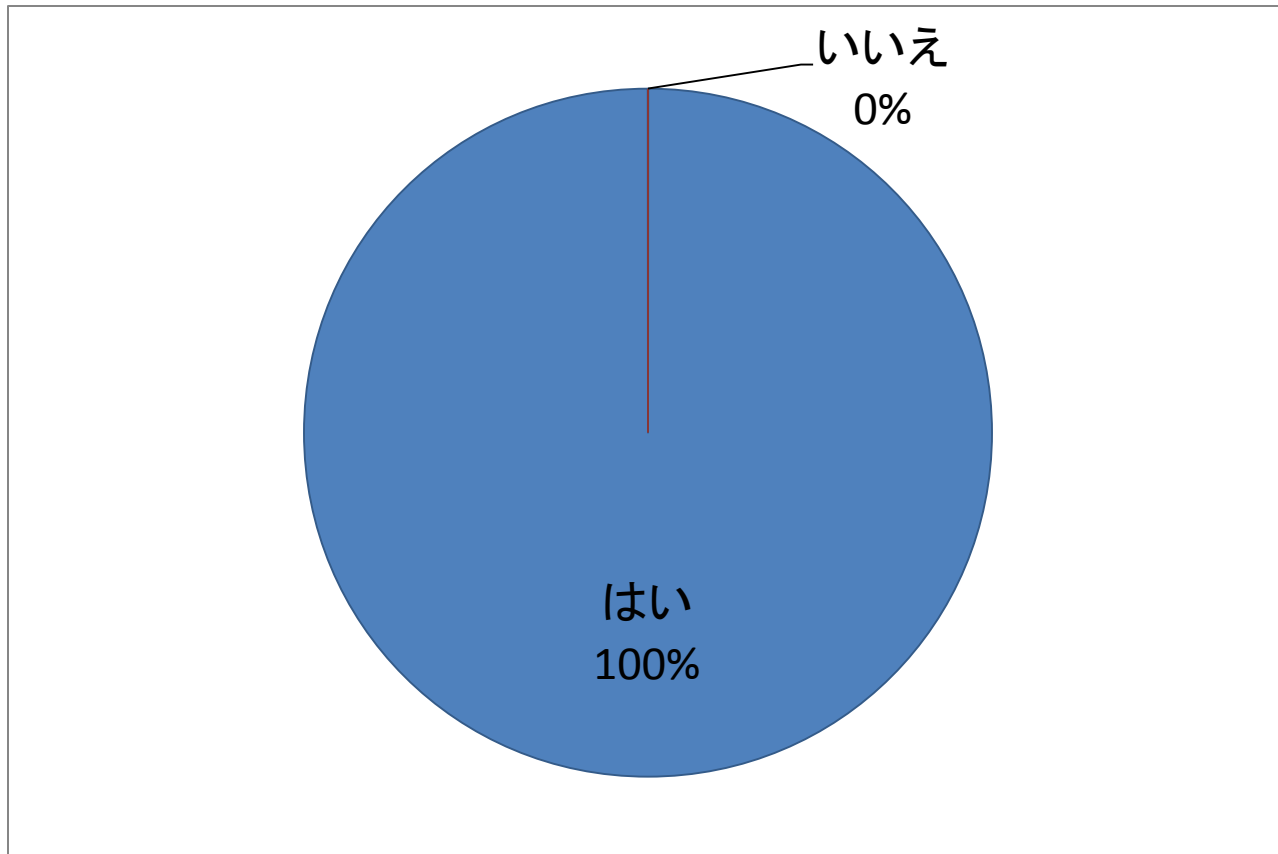
汚物室がきれいになり、臭わなくなる



患者さんに評価される

出張ラウンドアンケート(3施設、N=20)

出張ラウンドで、自院の環境が改善されたと思いますか。



⑦アウトブレイクの支援

①アすぐに訪問

②イ感染対策の確認

各病院で院内感染対策マニュアルに沿った対策

③ウ疫学的調査

多くの病院で不慣れ

a. 定義を決め、ラインリストの作成

b. 必要な検査を決める

c. 改善点を決める

④エ終息宣言

保健所と連絡を取り合い、終息日を決める

ネットワークに参加すると

知りたい感染対策の知識を得る



第三者の客観的意見がもらえる



働きやすい環境ができる



病院の評判が良くなる